

児童生徒の死亡事故等の対応マニュアル

(学校用 危機対応マニュアル)

児童生徒の死亡事故等の対応の流れ

※ 流山市教育委員会、『児童生徒の死亡事故等の対応マニュアル』を参照

未然防止のための取組

- 教職員研修の充実、各種マニュアルの策定・見直し
- 安全教育の充実、安全管理の徹底
- 事故事例の共有（情報の集約・周知）
- 緊急時の対応に関する体制整備



☆事故発生直後の対応

- 応急手当の実施
 - 被害児童生徒等の保護者への連絡
- 教育委員会に事故を報告

☆初期対応時の対応

- 危機対応の態勢整備（教育委員会から危機対応チームを派遣）
- 事故現場の回避、人を配置しての見守り活動
- 全生徒、全教職員に対するカウンセラー等によるカウンセリング
- 臨時保護者会の開催等、速やかに正確な情報を保護者、児童生徒に説明
- 情報の公表及び関係機関との調整
- 学校による基本調査（教職員・児童生徒等への聴き取り等、調査開始から3日以内を目処に終了し、整理した情報を教育委員会に報告）

詳細調査への移行の判断（流山市教育委員会）

☆詳細調査（教育委員会主体）の実施・報告書作成

再発防止策の実施

- 学校、流山市教育委員会は報告書の提言を受け、速やかに具体的な措置を講ずる。
- 実施状況について、適時適切に点検・評価
- 被害児童生徒等の保護者への支援

※ 必要に応じて、保護者と学校双方にコミュニケーションを取ることができるコーディネーターを配置

児童生徒の死亡事故等発生時対応マニュアル

事件・事故発生

- ①発生した事態や状況の把握 ②症状の確認 ③応急手当 ④協力要請
⑤警察や救急車の要請 ⑥保護者への連絡

対応時期	学校					
	事案への対応	遺族等への対応	情報発信・マスコミ対応	その他への対応	心のケアへの対応	教育活動への対応
初期対応	<input type="checkbox"/> 事故現場に向かう <input type="checkbox"/> 搬送先の病院へ向かう <input type="checkbox"/> 役割分担の確認 <input type="checkbox"/> 記録開始（事実確認と対応経過） <input type="checkbox"/> 対策会議 <input type="checkbox"/> 職員会議（教職員間の情報共有） <input type="checkbox"/> 市教育委員会への報告 <input type="checkbox"/> 基本調査実施	<input type="checkbox"/> 事実の公表についての意向確認 <input type="checkbox"/> 葬儀等の意向確認 <input type="checkbox"/> 葬儀後の訪問 <input type="checkbox"/> 遺品について相談 <input type="checkbox"/> 事故の補償等の確認指示 <input type="checkbox"/> 給食費・学級費・旅行費等の引き落とし停止 ※遺族への対応は管理職が行う。	<input type="checkbox"/> 警察発表内容の確認 <input type="checkbox"/> 遺族の意向確認 ※情報発信・マスコミ対応は市教育委員会が行う。	<input type="checkbox"/> 学校からのお知らせ文書 <input type="checkbox"/> P T A 役員への連絡 <input type="checkbox"/> 臨時保護者会の開催 <input type="checkbox"/> 問い合わせ対応窓口 <input type="checkbox"/> 相談・面談窓口	<input type="checkbox"/> S C 等によるカウンセリング（全児童生徒・全教職員） <input type="checkbox"/> 心のアンケート実施 <input type="checkbox"/> 担任による面談等、継続相談態勢（全児童生徒）	<input type="checkbox"/> 事故現場の回避を含めた通学路の検討・対策 <input type="checkbox"/> 登校見守り態勢 <input type="checkbox"/> 教育活動実施の方針 <input type="checkbox"/> 子どもへの事実の伝え方
事後対応		<input type="checkbox"/> 長期的な専門的ケア <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹へのサポート <input type="checkbox"/> 災害共済給付の請求		<input type="checkbox"/> 保護者会等での情報提供		<input type="checkbox"/> 死と向き合う時間の設定

記録用紙の例

《個人の記録用紙の例》

1. 被害児童生徒等について、数日前からの本人の状況、当該事故に関連があるかもしれない事件・事故等、知っていることについて記載してください。

(例：○日前から頭が痛いと言っていた、○日前の体育の授業で頭をぶつけた等)

2. 事故の瞬間及びその前後に、自分がいた場所と、当該事故に対して、自分がしたこと、(他の職員の対応等の)見たこと、聞いたことを、覚えている限り、全て記載してください。

時系列 (覚えていれば 時刻を記入)	自分が いた場所	したこと	見たこと	聞いたこと

《時系列での記録用紙の例》

事故発生日 : 令和 年 月 日 ()

被災児童生徒名 : 年 組 氏名

記録者 ()

※時系列で逐次記録する。

月・日	時刻	主な状況 (関係機関等の支援含む)	学校・教職員の対応	その他特記事項
		被害児童生徒等の状況や救急車の到着等の学校・教職員以外の対応を記載する。	学校・教職員が行った対応を記載する。 (対応者の氏名も記載する。)	情報源や事実か推察かの区分け等を記載する。

〔記録に当たっての配慮事項〕

- 時系列で記録
- 正確な内容（事実と推察は区別しておく。不明なものには「？」を記入。）
- 箇条書きで簡潔な文
- 重要な箇所にはアンダーライン
- 情報源を「その他特記事項」に明記